

平成30年度特許情報等分析活用支援事業
特許情報分析報告書 (③審査請求段階)

| | | |
|--------|--|----------------------|
| 出願番号 | - | ※もしくは貴社整理番号、弊社受付番号など |
| 公開番号 | - | |
| 発明の名称 | 微粉末水溶性樹脂 | |
| 調査年月日 | 2018年4月2日 | |
| 対象資料 | 公開特許公報、(公開実用新案公報、登録実用新案公報) | |
| 調査対象期間 | 特許：平成1年1月1日～平成28年4月2日 / 実用新案： | |
| 調査観点 | 1. セルロース系材料を用いた微粉末状物の製法で、乾燥工程を低温⇒高温の2段階 2. 上記1の微粉末状物が、マイクロカプセルであるもの ※もしくは出願明細書中の対象請求項 例：請求項1～4 | |
| 検索式 | [A]JP-NET FI・Fターム検索による抽出公報の閲覧：①+②+③ (P=120、U=12) ①Fターム：4G075([AA02+AA22+AA32+AA33+AA34+AA35])*[BB02+EA05+EA06+EA07]*BD26) ②Fターム：4G005(AA38+\$DA21+DA43+DC08)*AA13 ※各検索ツールにおける検索式と、閲覧件数を記 ③Fターム：4F201([AK01+AK04+AK07+AK08])*[BN01+BN21]*[AP14+AR1載 [B]PatentSQUARE検索による抽出公報の閲覧：④*⑤+⑥*⑥ (P=52、U=20) ※調査範囲は、技術の内容、検索ツール、使用の ④FI：(B01D1/22?) 分類やキーワードにより適宜選択 ⑤ル-ムKW：セルロース+水溶性樹脂+水溶性高分子+水溶性ポリマ ※主な使用データベース ⑥ル-ムKW：マイクロカプセル+微小カプセル+内包 ・JP-NET ・PatentSQUARE ※新規性を観点とし、閲覧状況により不足部分を | |

| 調査結果 | No. | 公開番号 | 発明の名称 | 概要 | 関連する観点 | 評価 |
|-----------------------------------|-----|---------------|----------|---|--------|----|
| | 1 | 特開2005-xxxxxx | 水溶性樹脂粉体 | CMCを含有した粉体に関し、スプレー噴射により形成した粉体を予備加熱後、乾燥する技術が開示。 【0000】「…水溶液はCMCと△△△を含有し…さらに、スプレー噴射を使用して微粒子を形成してもよい。微粉体中のCMCの含有量は ？重量%以下である…」 【00**】「…形成された微粒子は、予め予備加熱された第一乾燥槽で、 分加熱し、その後**Cに加熱された第二乾燥槽に吹き込まれる。…」 | 1 | ○ |
| | 2 | 特開2003-xxxxxx | マイクロカプセル | 内部に油性組成物を含有したマイクロカプセルに関し、カプセルの材料として、HPMCなどの水溶性樹脂が列挙。 【00**】「***とカプセル材を混合したエマルジョンを乾燥させ、マイクロカプセルを形成する。」 【00**】【00**】をご参照下さい。 但し、カプセルの加熱を2段階とする記載はありません。 | 2 | △ |
| | 3 | 特開平11-xxxxxx | | ※調査観点に該当する記載を抜粋。 相違点があれば、その箇所と観点を記入する | 2 | ▲ |
| | 4 | 特開2001-***** | | | 1 | ▲ |
| ※報告書には、抽出公報を添付、 公報中、該当箇所にアンダーラ | | | | | | |

評価記号の説明： ○…開示有り △…類似技術の開示有り ▲…参考程度